

2020年10月1日

報道関係各位

日本電気株式会社  
国立大学法人 東京医科歯科大学

**NEC と東京医科歯科大学、ヘルスケア領域における  
新たなサービス事業の創出・推進に関する協定を締結**  
～整形リハビリテーションのスキル高位平準化に向けた  
AI 技術に関する共同研究を開始～

日本電気株式会社(代表取締役 執行役員社長 兼 CEO:新野 隆、以下 NEC)と国立大学法人東京医科歯科大学(学長 田中 雄二郎、以下 TMDU)は、ヘルスケア領域における新たなサービス事業の創出・推進に関する連携協定を本日締結しました。

NEC と TMDU は今後、疼痛・再発予防を含む疾病予防等のヘルスケア領域における新たな予防・健康管理サービス事業の高度化を図るため、臨床研究を含む研究開発、人材育成、サービス内容の開発・提供等の連携を推進します。

近年、高齢社会の進展に伴い、健康寿命延伸への関心が高まっています。それを背景に、「病気になったら治す」のみならず「病気にならない」ことに対しても医療がその科学的知見・ノウハウを駆使して貢献することが期待され始めています。その文脈において、科学的エビデンスに基づき、必要な場合には、公的保険内外の医療ともシームレスにつながるような予防・健康管理サービスの充実も社会課題の一つとなっています。

一方、現状の予防・健康管理サービスは必ずしも医学的知見に基づいたサービスばかりではなく、また、医療機関と十分な情報連携を行っていないケースもある(注)といった課題もあります。

これらの課題を受け、NEC と TMDU は医療機関と予防・健康管理サービスの新たな連携モデルを模索するとともに、NEC の AI をはじめとする先進 ICT の実績やノウハウと TMDU の医学的知見を組み合わせることで、予防・健康

管理サービスの質向上に資する技術を開発することを目指します。

本協定の活動の一環として開始する共同研究においては、整形リハビリテーションに関して、医療従事者の暗黙知を共有可能にする技術を開発することで、医療従事者間のスキルの高位平準化を目指します。さらに、昨今の新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、人と人との接触機会を抑える必要がある場面にも対応できるよう、非対面サービスの提供に必要な技術についても研究を行います。これらの研究成果を新たな予防・健康管理サービスの創出に活用します。

なお今回、NEC オープンラボラトリーを本年 10 月に TMDU 内に開設し、各種共同研究をはじめ、予防・健康管理サービス事業の検討促進を図ります。

NEC は、AI 技術をはじめ、時代に即した安全・安心なサービス提供に向けて、医療におけるデジタルトランスフォーメーションを加速することで、住民一人ひとりの再発予防を含む疾病予防・健康維持に貢献します。

TMDU は、医療系総合大学院大学としての研究・教育機能と NEC の AI をはじめとする ICT との融合を契機とし、疾病予防／健康の維持・向上に資するヘルスケア領域における新たなサービス事業の検討とその品質向上、革新に必要な研究を‘二人三脚’で進める新しい「事業×研究」体制の構築を目指します。

(注) 公益社団法人 日本医師会日本医師会総合政策研究機構  
令和元年度商取引・サービス環境の適正化に係る事業（公的保険外・医療周辺サービス実態調査）調査報告書  
[https://www.meti.go.jp/meti\\_lib/report/2019FY/000037.pdf](https://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2019FY/000037.pdf)

<本件に関するお客様からのお問い合わせ先>  
NEC デジタルヘルスケア事業開発室  
E-Mail : tmdu\_press@med.jp.nec.com